

# にいがた 畜産協会たより

公益社団法人  
新潟県畜産協会

新潟市西区山田字堤付2310-15  
全農にいがた第2ビル内  
TEL. 025-234-6781  
~6783



## 目次

- ◆ 年頭のご挨拶 ..... (2)
- ◆ 全国優良畜産経営管理技術発表会で  
優秀賞を受賞..... (3)  
・ 津南町：株式会社鬼や福ふく(養豚経営)
- ◆ 家畜防疫・衛生指導対策事業 ..... (4)  
・ 新潟地域振興局巻農業振興部で机上演習を開催
- ◆ 北陸四県馬事畜産振興協議会レポート ... (4)
- ◆ にいがた和牛消費拡大キャンペーンを  
開催しました！... (4)
- ◆ 令和3年度事業実績中間報告 ..... (5)
- ◆ イベントコーナー ..... (6)  
・ 親子ハロウィン料理教室を開催しました！
- ◆ 声のコーナー ..... (7)  
「私の目標」  
有限会社和栗ファーム 水澤 洸大
- ◆ 畜産安心ブランド生産農場だより ..... (8)
- ◆ ちくさん女子の窓 ..... (8)
- ◆ 編集後記 ..... (8)



## 年頭のご挨拶



公益社団法人新潟県畜産協会  
会長 伊藤 能 徳

明けましておめでとうございます。

日頃から、皆様方には当協会の業務推進に格別のご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

令和4年の年頭に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年に続き新型コロナウイルス感染症の対応に追われた1年ではなかったでしょうか。自由な移動や交流の制限など「新しい生活様式」の実践が求められ、ようやく定着してきたところかと思えます。これに加え、ワクチン接種の推進等により、9月後半から感染者数が減少し、明るい兆しも見えてきたところでしたが、変異株の出現により、まだまだ安心できない状況が続きそうです。

畜産業においても、外食やインバウンド需要の減少により牛枝肉卸売価格が一時期、大幅に低下しましたが、支援事業や経済活動の再開等により回復し、令和2年秋以降は堅調に推移しています。

一方、令和2年10月以降、南米での作柄悪化等によるシカゴ相場の上昇、海上運賃の上昇、中国向け輸出成約の増加等により配合飼料価格が高騰し経営を圧迫する状況となっています。

また、「豚熱」や「高病原性鳥インフルエンザ」といった家畜伝染病の発生が相次ぎ、隣接県を含む近県でも発生しており、引き続き最大限の警戒が必要な状況です。

このような畜産経営に大きな影響を及ぼす不安要素があるなか、公益社団法人中央畜産会主催の「全国優良畜産経営管理技術発表会」において、昨年続き本県代表が「優秀賞」を受賞するという明るい話題もありました。

さらに、全国的には農林水産省の組織再編に伴い「畜産局」が20年ぶりに復活しました。これは農業生産全体が少しずつ縮小するなかで畜産は逆に伸びていることや、農畜産物の輸出拡大の主翼を担うことが期待されるなど、畜産業の必要性と重要性が再認識されたものと考えています。

当協会では、これらの情勢を踏まえ、行政と連携して、畜産クラスター事業、経営コンサル事業及び価格安定制度の運用等を的確に実施し、生産基盤の強化、生産性向上による所得の確保及び家畜衛生対策の徹底に取り組んでまいり所存です。

結びに、令和4年が皆様にとって希望に満ちた明るい年となりますことをご祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 全国優良畜産経営管理技術発表会で優秀賞を受賞

津南町：株式会社 鬼や福ふく（養豚経営）

令和3年11月26日（金）、第61回農林水産祭参加行事として、公益社団法人中央畜産会の主催で「令和3年度全国優良畜産経営管理技術発表会」が東京都千代田区の都市センターホテルで開催され、本県の株式会社鬼や福ふく（津南町・養豚経営）が優秀賞を受賞しました。

この発表会は優秀な実績を収めている畜産経営の表彰と、その成果及びそれを支えた経営管理技術の普及拡大のために開催されたもので、全国の畜産協会等から推薦された事例のうち8事例が当日の発表会に選考され、株式会社鬼や福ふくの後継者である島田福德さんが発表しました。



発表する島田福德さん

## 株式会社鬼や福ふくの経営概要

島田福德さんは平成13年に大学を卒業後、1年間アメリカの養豚場で研修をして帰国後すぐに家業の養豚業に就農しました。その当時は一般的なストール方式で飼養していましたが、規模拡大を図る際に、父・福一さんの「母豚がずっとストールで飼われているのはかわいそう」というアニマルウェルフェアの観点から、平成20年にオランダNEDAP社の群管理システム（VELOS）を導入し、フリーストール方式の母豚管理を行っています。このICT技術とフリーストール豚房により、個体管理の強化が図られ、以前は低迷していた繁殖成績が飛躍的に向上しました。

豚舎から出る堆肥は、ほぼ100%自家のスイートコーン畑に還元して耕畜連携を図っており、「鬼も

ろこし」として商標登録もしています。また、若手農業者グループの活動として、スイートコーン収穫ツアーなど消費者交流の場を積極的に提供しています。

さらに、地域のみならずアセアンへの貢献として、平成19年から令和元年まで毎年、新潟県国際農業交流協会の農業研修生を受け入れ、農業研修を通じて日本の先進的な技術、経営手法を習得してもらえるように日々、研修生に接してきました。今まで13人の研修生を受け入れましたが、帰国後はそれぞれが自国において自らが習得した技術を波及させ、地域農業の中心的存在として活躍しており、SNSが発達した現在、今でも多くの研修生と連絡を取り合っています。

## 優秀賞の評価ポイント

株式会社鬼や福ふくの取り組みは中央審査委員会において主に4つのポイントが評価され、優秀賞の受賞となりました。

- ① オランダの群管理システムを導入、フリーストールで母豚160頭を飼養して肉豚荷頭数が多く好成績
- ② 堆肥ほぼ全量を自家スイートコーン畑とニンク畑に投入して循環型農業を实践
- ③ アセアン農業研修生を積極的に受け入れ
- ④ 代表の妻・玲子さんが町の食品加工グループを立ち上げ



表彰式を終えた島田福德さん

## 家畜防疫・衛生指導対策事業

### ・新潟地域振興局巻農業振興部で机上演習を開催

当協会では平成25年より（公財）全国競馬・畜産振興協議会の助成を受けて、生産者主体の防疫演習を開催してきました。

今年度はこれまでに1カ所、令和3年11月5日に巻農業振興部において開催された「畜産環境改善研修会（臭気対策）」に共催の形で実施し、中央家畜保健衛生所に講師をお願いして、「家畜の飼養衛生管理について」の演題で情報提供を頂きました。

国内では、豚熱においてワクチン接種農場でも発生が続いているほか、昨年は高病原性鳥インフルエンザの大流行もあり、農場への悪性伝染病の侵入リスクが高い状況が続いています。

このような状況の中で、令和2年の飼養衛生管理基準改正において農場の自衛防疫の項目が雑則から総則に組み入れられるなど、各地域の生産団体とそれを構成する個々の農場が「自分の農場を自分で守る」ことについての重要性が年々高まっています。

今回のような防疫演習は、万が一農場で発生した場合の連携体制を確認するとともに、日頃の衛生対策を確認する良い機会になると思います。

当協会では、引き続き県内2カ所での開催を検討しています。

ご興味をお持ちの方は、担当までご連絡いただけますと幸いです。

### ・家畜防疫・衛生指導対策事業

#### 3か年の開催実績

年度	開催日	場 所	生産者・団体等
R1	R1.10.30	村上市	43名
	R1.11.8	十日町市	33名
	R1.11.29	新潟市西蒲区	37名
R2	R2.11.19	新潟市江南区	18名
	R2.12.17	上越市	27名
	R3.1.22	魚沼市	26名
R3	R3.11.5	新潟市西蒲区	17名
延べ合計			201名



## 北陸四県馬事畜産振興協議会レポート

当協会は地方競馬全国協会の補助を受け、畜産経営の支援体制強化、馬事普及啓発推進体制の強化等の畜産振興事業に取り組んでいます。

10月4日、地方競馬の振興等を目的とした北陸四県馬事畜産振興協議会が北陸地方唯一の地方競馬「金沢競馬場」にて開催されました。

金沢競馬はコロナ禍によるネット投票が増え、売上げを順調に伸ばしておりますが、当日の入場者は会員限定のため、競馬場でのファンサービスは実施せず、WEB開催となりました。早く日常を取り戻し、プレゼント企画などファンサービスを盛大に実施したいと感じました。



## にいがた和牛消費拡大キャンペーンを実施しました！

にいがた和牛推進協議会（事務局：畜産協会）は、新型コロナウイルス感染症の影響による和牛肉の消費が低迷していることから、和牛生産者や和牛肉販売業者の応援のため、「にいがた和牛」の消費拡大を目的とした『にいがた和牛を食べるとル レクチエが当たる！にいがたの「ぜいたく」を味わおう！キャンペーン』を実施しました。

このキャンペーンは、「にいがた和牛」精肉等の購入者や、「にいがた和牛」料理の飲食者を対象に、県を代表する高級農産物である「ル レクチエ」2kg相当が抽選で100名に当たるもので、11月1日から1か月間実施したものです。

応募総数は1,135口で、県内を中心に全国から応募があり、多くの消費者から好評をいただく結果となりました。

# 令和3年度事業紹介・中間実績報告

## 肉用子牛生産者補給金制度

- ・令和3年9月末現在  
生産者積立金残額：24,431,300円
- ・今年度第2四半期まで発動無し

## 肉用牛肥育経営安定交付金制度

令和3年度（4～9月期）  
交付金交付状況

（単位：円）

品種区分	金額
肉専用種	2,508,600
交雑種	20,846,284
乳用種	7,429,488
合計	30,784,372

### ※生産者負担金について

令和2年4月以降の生産者負担金の納付猶予については終了し、令和3年6月より納付再開されています。

## 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

（畜産クラスター事業）

補助金配分予定額：29,491,000円

畜産クラスター計画に基づく取組を行う者が販売額増加や生産コスト低減などに必要な機械装置を導入する場合に必要な費用の一部を補助する事業です。

今年度は9経営体85基の配分が通知されました。

畜種	経営体数(戸)	機械装置内訳(基)			補助金配分予定額(千円)
		飼養管理	飼料生産	糞尿処理	
酪農	4	75	-	1	9,373
肉用牛	5	-	5	4	20,118
合計	9	75	5	5	29,491

## 畜産経営災害総合対策緊急支援事業

（肉用牛経営災害緊急支援対策事業）

令和2年度実績：1,372,259円  
（R3年度支出）

令和3年度交付決定額：15,179,592円

令和2年から3年までの冬期の大雪により畜産関連施設等に被害を受けた肉用牛経営体の経営継続のため、施設の補改修や肉用牛の緊急避難に要する経費を補助する事業です。

令和2年度事業は5生産者集団8経営体の実績があり、令和3年度は7生産者集団13経営体の交付決定がありました。

## 獣医師養成確保修学資金給付事業

今年度給付実績：8,280,000円

産業動物診療獣医師や家畜防疫員を養成・確保することを目的として、卒業後、県内の農業共済組合、民間の飼育動物診療施設又は家畜保健衛生所等に獣医師として従事を希望する獣医学生に、修学資金を給付する事業です。

給付された修学資金は獣医師免許取得後一定期間、上記の就業先に従事することでその全額が返還免除となります。

本事業では平成30年から合計6名の方に修学資金を給付しており、今年度も新規に1名の方と給付契約を締結しました。



## 親子ハロウィン料理教室を開催しました!



令和3年10月24日(日)、新潟調理師専門学校様のご協力のもと、ハロウィン料理教室を開催し、延べ20名が参加しました。

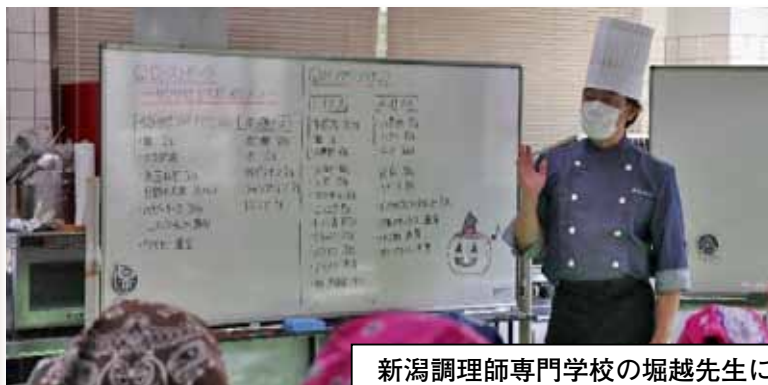
今回は新潟県統一和牛ブランド「にいがた和牛」の知名度向上・消費拡大を目的として、にいがた和牛を用いた「ローストビーフ DE ハッピーハロウィン」「ハロウィン! パンプキンラザニア」の2品を調理しました。

新型コロナウイルス感染症対策として、出来上がった料理は容器に詰めてお持ち帰りいただいたため、完成した料理の感想を頂くことはできませんでしたが、専門学校の皆様の手厚いサポートもあり、開催後に実施したアンケートでは、全員から「参加してよかった」との評価を頂くことができました。

当協会では同様に「にいがた和牛」を食材とした料理教室の開催を、2月13日および2月27日にも予定しています。



専門学校のスタッフさんが丁寧にサポートしてくれました。



新潟調理師専門学校の堀越先生に講師を務めていただきました。



パンプキンラザニア



ローストビーフ

\*\*\*\*\* 声のコーナー \*\*\*\*\*



有限会社和栗ファーム：  
和牛繁殖経営 水澤 洸大



『私の目標』

私は、昨年4月に伯父の営む和牛繁殖経営を引き継ぐため地元上越に戻り就農しました。

私が牛に興味を持ったきっかけは、動物が好きだったことと伯父が牛を飼っていたことです。幼い頃から伯父の家に遊びに行ったときは、牛にエサをやるのが楽しみでした。高校、研修生、大学とどっぷり畜産について学び、人工授精師、受精卵移植師の資格を取得することができました。大学卒業後はもっと現場の経験と技術アップがしたく、縁あって和牛の本場九州に就職しました。経験と技術を身につけ、自信満々に戻っては来ましたが現実には甘くはありません。季節ごとの仕事を覚えなければならない、子牛が思うように発育をしなかったらどうしようか、考えると不安になることが多々ありました。そんな中で、伯父や地元JA職員の方、上越畜産担い手グループの先輩農家さんからたくさんの助言を頂き、少しずつですが前に進んでいるのかなと思います。

九州と新潟では土地柄が違うため、学んだことに意味がなかったのではないかとと思われるかもしれませんが、参考にしたこと・自分ならこうしていきたいと思った事がたくさんあります。今はできなくてもいつか必ずフィードバックして、規模拡大と元気のいい子牛を出荷できるように、日々努力していきたいと思っています。



私の目標はまず母牛を50頭にすること。そして、頭数が増えたとしても伯父が大事に考えている牛の飼い方や考えはしっかりと継承していきたいと思っています。

牛飼いは一生勉強と教えてもらいました。周りの方から教えてもらい、自分でも勉強して、微力ではあるかもしれませんが、新潟の畜産の盛り上がり勢いをつけられたらと思います。

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる! 畜産! 5

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!  
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!

配信中の内容: 畜産の最新研究・技術を見る/豚の肉質を中心とした育種改良技術/鶏肉特集第1弾江戸文化を受け継ぐ東京しゃもを大特集! / 他



▼スマートフォンからはこちら  
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



(公社) 中央畜産会 経営支援部 (情報) TEL03-6206-0846

## 畜産安心ブランド生産農場だより

新潟県畜産研究センター：  
酪農肉牛科 宮腰 雄一

酪農経営って乳房炎との闘いですよね。経済的にも乳房炎さえなければな～って、いつも思います。

畜産研究センターの搾乳は、毎日同じ人が搾るわけではなく、職員が入替わりで搾ります。人には個性があるので搾り方も微妙に違います。前搾りをしてブツが出たりすると前の搾乳者の手技が疑われたりして…なんてことも。

そこで、搾乳担当者全員の作業を撮影して、皆で動画を見ながら同じ手順やタイミングでミルクカー装着や離脱ができるよう勉強会をしたことがあります。手技の平準化で乳房炎はかなり減りました。でも、完全にはなくなりません。

令和2年10月からスマート農業として搾乳ロボットが稼働し、人の手から機械搾乳に変わりました。同じ手順で同じルールのもと搾乳されます。でも、依然として乳房炎はなくなりません。これは搾乳の手技だけでなく、エサやベッドメイク、季節、ストレス等、色々な要素が影響しているからですね。

令和3年は新しい牛舎で初めての夏を迎えましたが、案の定、乳房炎が多発。どうもベッドの衛生管理が良くなかったようです。

その後、色々と改善し9月下旬からはずっと乳房炎が出ていません。これっていつまで続くのかな？ 潜在性乳房炎の牛や肢蹄の悪い牛がロボットやフリーストールに合わず、この1年間に大分廃用されたせいもあるでしょう。でも、乳房炎が出ないのはロボットの調子や他の色々な要素が今は上手く回っているからなのかしら…とパソコン画面のデータを見ながら思いを巡らせています。数字やグラフだけで牛を管理するのは寂しい気もしますが、今まで見えなかったものが見えたとき、これがICTってことかな～と思う今日この頃です。

搾乳ロボット牛舎の視察受入れを開始しました。希望がありましたらご連絡ください。



## ちくさん女子の窓

新潟みらい農業協同組合：横川 真奈美

小さい頃から動物が喋る映画が大好きで、金魚を飼い、ハムスターを飼い、将来の夢は自然と動物に携わる仕事になりました。夢が叶った今、農協では事業の申請や部会の事務、出荷や授精業務を行っております。来年は合併のため新しく新潟かがやき農協として名前が変わりますが、これからも変わらず畜産に従事していきたいです。また、養豚担当として自慢の「しろねポーク」を見かけた際は、ぜひ食べて頂けると嬉しいです！

最近はおうち時間の趣味として、ハンドメイドにハマっております。学生の頃から牛豚鶏モチーフの雑貨をよく集めていたのですが、今でも作るものはみんな畜産関連のもの…(笑)上手な作家さんを参考に見様見真似で作っておりますが、満足のいくものが出来たときは達成感があり、自粛ムードが終わっても続けていきたい趣味です。次の畜産女子会のものづくり教室も楽しみです(^^)



## 編集後記



去る秋の暮れ、夜道で子猫を拾いました。道路の真ん中で動けなくなっていた彼女。あまりにも小さく痩せていたため、保護してから1週間は夜も眠れぬほど心配でした。

しかしそんな心配も知らぬ顔。食べること食べることで、ガリガリに痩せていた体はみるみる大きく、それにつれて態度も大きく(笑)。

最近の心配はそろそろダイエットが必要じゃないかということ。未永く長生きしてほしいなあと思いつつ、おかわり攻撃に耐えています。(編集担当：真保)

